

平成26年度 明石市地域自立支援協議会

こども部会 リポート Vol. 5 平成27年3月6日

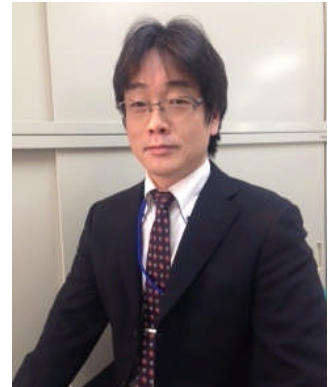
発行元：明石市地域自立支援協議会 こども部会 事務局
 (基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252

【 意見投稿用アドレス 】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

皆様こんにちは。明石市教育委員会事務局学校教育課指導主事の高田と申します。

今年度「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」が策定され、その施策の一つに、関係機関との連携を強め、早期から成人に至るまでの一貫した継続的な指導や支援を行うことの重要性について言及されています。しかし一言に「連携」と言っても、捉える人によって様々にイメージが違うのではないのでしょうか？そのイメージを統一させていくことが、「連携」を深める第一歩ではないかと思えます。子どもたち、保護者の幸せを願って、それぞれの関係機関の長所と短所、できることとできないことなどを明確にしていくことが大切ではないかと考えています。その仕組み作りの手助けができれば幸いです。皆さん、よろしく願いいたします。



高田 善彦 委員



「第4回 児童通所サービス等事業所連絡会」
 活動報告
 ～ 平成27年2月17日(火)開催 ～



あかしゆらんクラブ 橋 裕子氏より、「微細運動」を通して、人とのコミュニケーション・相手の気持ちに共感すること・笑いなど、子育ての大切なことを学びました。

「児童通所サービス等事業所連絡会」も4回目の開催を迎え、関係機関を含め、22団体32名が出席し、「顔の見える関係・ネットワークづくり」ができてきました。

〈第1部〉では、あかしゆらんクラブ 橋 裕子氏より、「ドイツゲーム こどもたちの楽しみ方」をテーマにワンポイントレッスンをいただき、非電子型のテーブルゲーム(ボードゲーム)を用い、指先を使っての色合わせや型はめを取り入れた「微細運動」について学びました。また、前回のワンポイントレッスン「障がい児のスポーツと運動」で学んだ「粗大運動」とあわせて、よりよい療育の実践へつなげるための方法を考えるよい機会となりました。

〈第2部〉の連絡会では、前回の連絡会をふりかえり、みなさんの悩みや意見は、必ずみんなで考え、知恵を出し合い、解決の糸口を見出せるよう返していくことを確認しました。また、こどもの発達に関して相談することのできる医療機関について情報交換を行い、指定児童相談支援事業所におけるこども・保護者・事業所等の関係機関に対する関わりについて発表をいただきました。

今後も、普段より悩んでいることを出し合い、他の機関・事業所ではどのように取り組んでいるのかを聞き合え、全員の思い・意見を包括することのできる連絡会として、「連携」という大きなテーマについて引き続き議論・意見交換を行っていきます。

【 参加者からの主な意見 】

- ・ 冷蔵庫をあさってしまうこども(小学校1年生)に対して、どのように支援し、工夫すればよいか。
- ・ こどもの発達に関して相談することのできる医療機関の情報収集をどのように行っているか。
- ・ そのこどもはどのような背景でその状況に置かれ、これから何がどれだけ必要であり、どのように関わり、支援を行っていくべきかを議論していきたい。

【 次回(第5回)の連絡会 】 ☆ 3月17日(火)に開催します ☆ 毎月第3火曜日 に開催 ☆
 ・ 〈第1部〉ワンポイントレッスン テーマ「支援計画のながれ」について
 ・ 〈第2部〉前回の意見のふりかえり・意見交換 テーマ「教育・医療・家庭・事業所の『連携』」